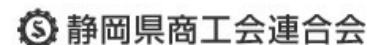


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 3 年 10 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 3 年 10 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 3 年 10 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【緊急事態宣言の解除で個人消費が回復に向かいつつあるが、部品不足や原油高等の影響を受け、県内小規模企業の景気は停滞気味である】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-29.9（前月-28.7、前年同月-40.9）で、前月比 1.2pt 悪化した。緊急事態宣言の解除により衣料品や食料品、理美容等の個人消費が回復に向かいつつある。一方で、製造業は半導体不足や原油高騰、建設業はウッドショックや住宅設備機器の納期遅延等により業況が悪化している。

【製造業】

業況は-19.6（前月-13.7、前年同月-34.3）と前月に比べ 5.9pt 悪化した。特に機械金属業においては、半導体不足や原油高等の影響を受け業況が悪化しており、減産調整等により対応を行っている。

【建設業】

業況は-41.1（前月-32.3、前年同月-23.5）と前月に比べ 8.8pt 悪化した。需要は徐々に回復しているものの、ウッドショックの長期化による資材価格高騰や、住宅設備機器の欠品による工期遅延等が発生し、業況が大きく悪化した。

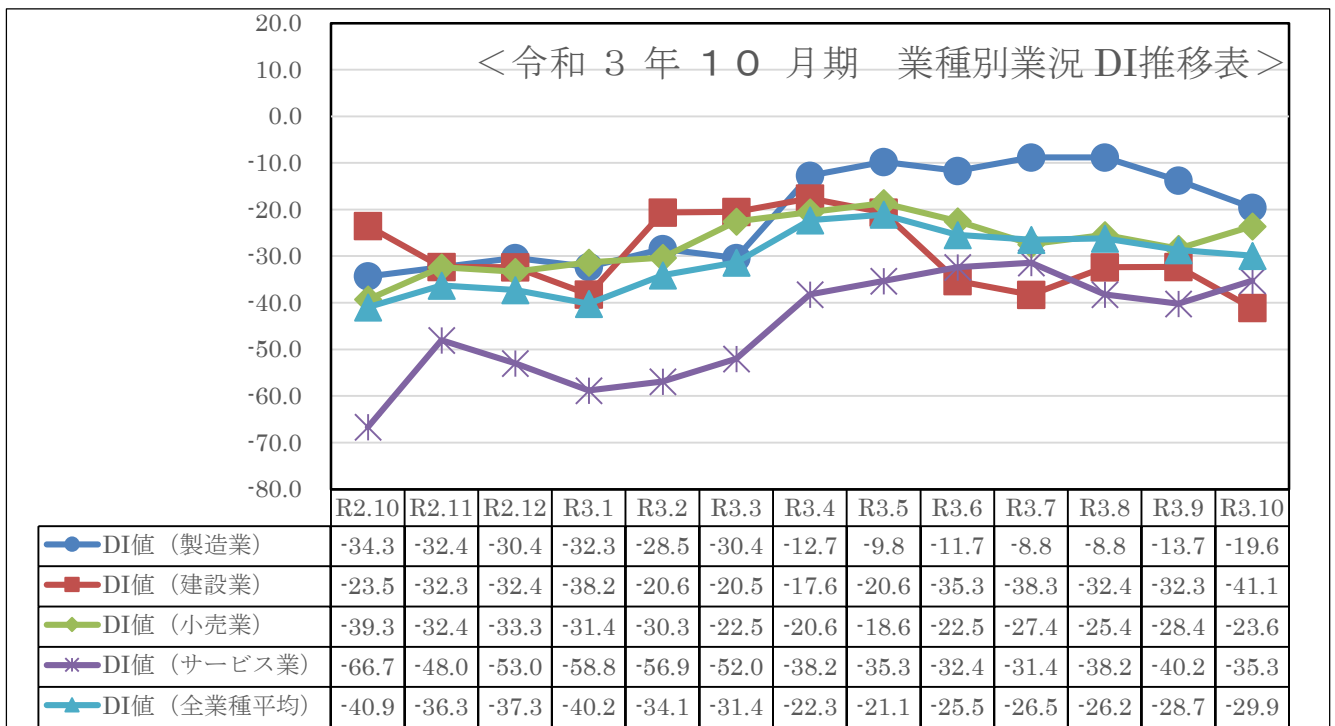
【小売業】

業況は-23.6（前月-28.4、前年同月-39.3）と前月に比べ 4.8pt 好転した。緊急事態宣言が解除され、徐々に客足が戻りつつある。衣料品においては、外出機会の増加に伴い売上も増加傾向にある。

【サービス業】

業況は-35.3（前月-40.2、前年同月-66.7）と前月に比べ 4.9pt 好転した。旅館業は、緊急事態宣言が解除されたが依然として低調が続いており、顧客の動きは慎重である。一方で、顧客が来店を控えていた理美容業は客足が戻り、業況が大きく好転した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・旅館等へ卸している食料品製造業者は、昨年はGoToトラベルにより売上が増加したが、今年には昨年と比較し観光客が少ない影響を受け、売上也減少している。（伊豆）
- ・原油、資材、部品等の高騰や入荷難により、事業活動に悪影響を与えている。（富士駿東）
- ・自動車関連業は減収減益であり、半導体不足等の影響により生産調整を行っている。（中部）
- ・原油、食用油、金属価格高騰の影響を大きく受けている。（中東遠）
- ・機械製造業は、半導体不足等の影響を受け原材料費が高騰し、入手難の部品もある。（西遠）

【建設業】

- ・受注が途切れない状況が続いているものの、木材等の資材を中心に原材料の高騰が続いており、価格転嫁できない受注先も一部あるため利益率が悪化している。（伊豆）
- ・資材価格が高止まりの状況で、ウッドショックの影響が長引いている。材料を多く消費する新築物件等では工事価格に大きな影響が出ている。（富士駿東）
- ・住宅建設用の木材不足により、工期遅延等が発生している。（中部）
- ・新築は少ないが、リフォームやエクステリア、解体工事時の需要がある。（中東遠）
- ・トイレの納期に数カ月を要しており、着工に遅れが生じている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

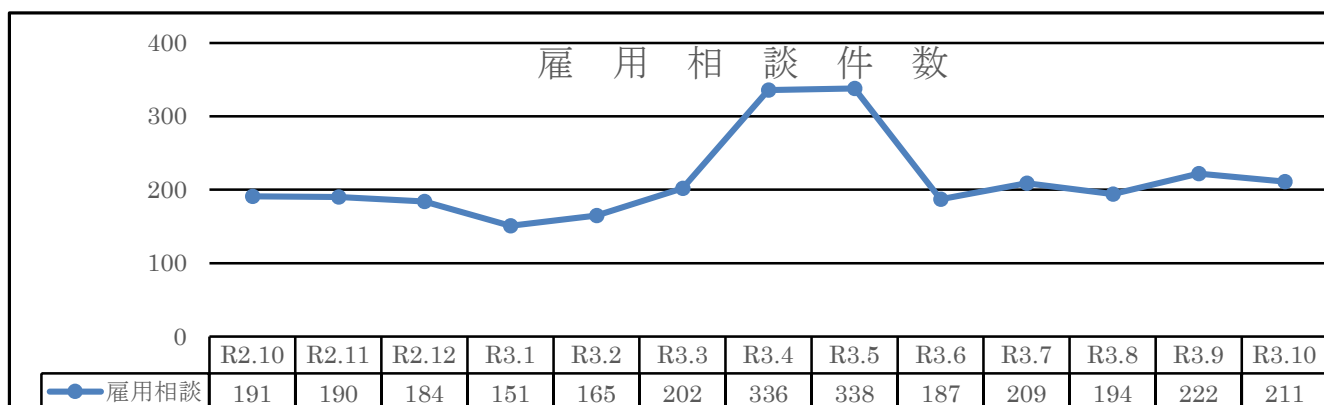
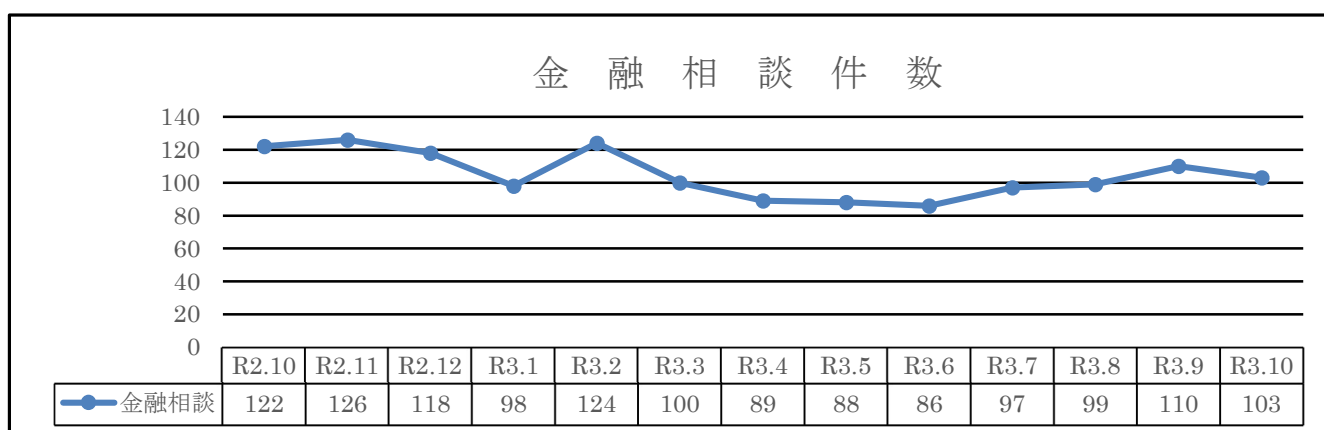
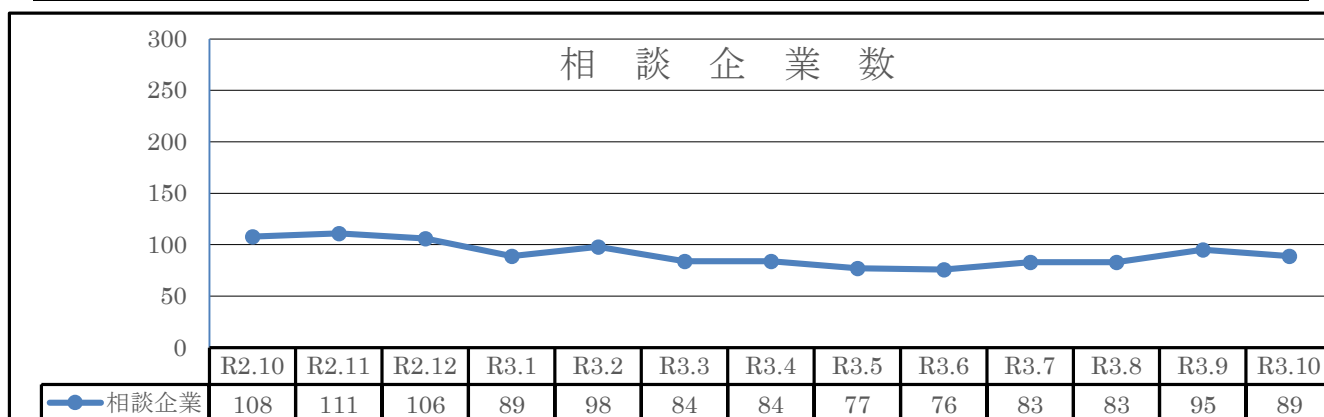
- ・食料品は、販売に動きが出てきたが、一部商品の値上がりで採算が厳しい。（伊豆）
- ・緊急事態宣言が解除され、徐々に客足は戻りつつあるが、楽観視できない状況である。（富士駿東）
- ・食料品は、仕入れ価格がやや上昇している。（中部）
- ・耐久消費財は半導体不足やコロナ禍の減産等により入荷が遅れている。（中東遠）
- ・衣料品は、外出する機会の増加により売上也回復傾向にある。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・緊急事態宣言は解除されたが依然として低調である。観光が主産業の地域であることから、それに付随するサービス業への影響が大きい。（伊豆）
- ・緊急事態宣言が解除されたものの、顧客の動きは慎重である。（富士駿東）
- ・旅館業は、業況を持ち直しつつある。小グループや個人客への対応が急務である。（中部）
- ・洗濯業は、衣替えの需要がなかった。（中東遠）
- ・理美容業は、緊急事態宣言中に来店を控えていた方が訪れ、忙しい月となった。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年10月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	89	95	-6
【金融相談件数】	103	110	-7
新規融資(借換えを除く)	59	69	-10
既存債務の借換え	36	38	-2
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	1	1	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	6	2	4
【雇用相談件数】	211	222	-11



【金融相談】

金融相談件数は、103件と前月(110件)に比べ7件減少した。緊急事態宣言の影響による資金繰りの悪化で、運転資金の相談が多く、据置期間終了後の返済を危惧する声もあった。

<経営指導員コメント>

- ・運転資金の相談が目立ったが、補助金申請における設備資金に対する相談もあった。(伊豆)
- ・新型コロナの影響を受けた建設業の事業者から相談が多くあった。(富士駿東)
- ・融資返済の据置期間終了を不安視する声が増加している。(中部)
- ・諸経費支払や材料仕入等、当面の運転資金を確保し、資金繰り改善を図った。(中東遠)
- ・全体として企業からの資金需要は落ち着いている状況である。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、211件と前月(222件)に比べ11件減少した。緊急事態宣言の影響による休業等で業況が悪化し、雇用調整助成金に関する相談が多い。

<経営指導員コメント>

- ・雇用調整助成金の継続申請について適宜対応をしている。(富士駿東)
- ・労働保険の加入や雇用調整助成金について相談があった。(中部)
- ・緊急事態宣言による休業で雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金の相談があった。(中東遠)
- ・コロナ禍で営業縮小や半導体不足による休業等で雇用調整が引き続き生じており、雇用調整助成金の相談が一定数ある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・10/10(日)に「伊勢海老づくし特別な日」のイベントを開催した。(南伊豆町)
- ・10/4(月)から「おやま応援プレミアム商品券」を販売、10/22に完売した。地域経済の活性化を期待している。(小山町)
- ・11/29(月)から「歳末お買得商品券」を抽選形式により販売する。(沼津市)
- ・10/17(日)、おいべっさん祭り・ToitaMARKET、10/30(土)、蒲原トライアル marche を開催した。(静岡市清水)
- ・12月から小規模イベントの再開が決定した。(大井川)
- ・10/30(土)~12/5(日)、デジタル菊川産業祭 スマホ de スタンプラリーを開催している。(菊川市)
- ・緊急事態宣言が解除され、地域の新規感染者も1カ月近く発生していないことから、昨年は中止された恒例のイベントが規模を縮小して開催され、ハロウィンに合わせた商店街活動などが行われた。(掛川みなみ)
- ・地域を盛り上げるため、また新型コロナ終息祈願を目的に、サプライズ花火を商工会・企業交流会・コミュニティセンターと共催で実施した。(浅羽町)
- ・例年10月第4日曜日に開催されている、産業まつり「あらいじゃん」は、新型コロナ感染拡大防止のため、会場での開催は取りやめ、協賛店で買い物をしてくれた方に抽選券を配るイベントに切り替えた。(新居町)